

KOCHI 2016 ROTARY 2017 CLUB SINCE 1937



2016-17年度 RIテーマ

週報



Weekly report 第3299回 2017年4月11日 2017年4月18日発行

● 会長挨拶

皆さん、こんにちは。先週は活気あふれる情報集会となり、今週からの集会報告が楽しみです。10年を経過した燦燦基金もますます有意義な活動に進化していくものと大いに期待されるところでございます。

昨日、4月10日の13時から市長室にて、岡崎高知市長からヘリサイン寄贈の感謝状を授与されました。出席者は私と伊丹幹事、それと中澤陽一ロータリー財団委員長の3名でした。市長からは、南海トラフ地震等大災害のときには、必ず役に立つものだからと感謝の言葉をいただきました。南海トラフ地震等による大災害発生時に上空ヘリコプター等の航空機からの援助、物資運搬等を円滑に実施するため、主要な避難場所となる全ての市立小中学校60校にヘリサインを整備する事業を高知市が計画しています。28年度と29年度の2カ年事業で、これを1日でも早く実現するため、今年度1校分のヘリサインを地区補助金を活用して高知RCから

寄贈したものです。今年度は長浜小学校でしたが、来年度も1校分を寄贈するべくロータリー財団の地区補助金を申請中です。

今週末は、高松での地区大会が行われます。我がクラブからは32名の多くの出席をいただいています。高松での16年前の開催のときは、永野会長と私が幹事で皆さんと行ったことを思い出します。失敗したこと、嬉しかったこと、いろんなことを実にリアルに覚えています。入会歴の浅いメンバーや中堅、ベテランメンバーとも今回大いに楽しんでしようと思っていますので、どうぞよろしくをお願いします。



■ 本日のプログラム [4月18日]

情報集会報告

会 長	川 添 昇
副 会 長	高 村 禎 二
幹 事	伊 丹 由 美
副 幹 事	高 橋 明 子
会報責任者	森 木 潤 一 郎

● **ロータリーソング** 「四つのテスト」

● **新入会員紹介**



・ **嶺岸 康氏挨拶**

入社して25年目になりますが、このような伝統あるロータリークラブに入会できたことをとても誇りに思っていますし、大変緊張しています。仕事上では「一人一役」という言葉を大事にしている、高知のメンバーとこれを合言葉に4月から取り組んでいく所存です。ロータリークラブにおいても、自分が成せることは何かを考えて活動をしていきたいと思っていますのでよろしくお願いいたします。



● **幹事報告**

- ・先日、こうち被害者支援センター、近藤由香利様に卓話に来ていただきましたが、お車代を寄付として活用させていただく旨のお礼状が届いています。



◆ **情報集会報告 第1回**

◎ **4日 A班 (発表・紫藤秀久会員)**

火曜日のA班を発表します。メンバーはリーダーの甘田さん、小笠原さん、佐野さん、芝藤さん、杉本さん、武田さん、中澤清一さん、野村さん、藤田さん、そして紫藤のメンバーで話し合いました。最初にいきなり乾杯して飲みが始まりましたんで、本当に最後まで行き着けるかなといふうふうに心配でしたけども、私のメモが全然取りきれないぐらい議論も活発にできまして、何とか一応意思統一というか、結論までいけたのでほっとしています。リーダーの采配が良かったのだと思います。

話を始めるにあたって、ちょっと方向性だけは絞り込んでいかないといけないなということで、そもそも燦燦基金を続けるべきかどうか。それから、奨学生の人数をどうしたらいいのか。それから、基金をどうやって集めるべきかということで、まず意思統一を図ろうということになりまして、続けるべきかどうかについては、もちろん続けるべきだ。これはもう全員

一致で。それから、人数どうするべきかと。これについては、なかなか資金集めの問題もあり増やすのは難しいだろうと。現状維持でどうだろうかとこのところまでは意思統一ができたところで、最後どうやってお金を集めていくかというところに絞り込んでいろいろ議論をしました。

いろんな意見が出ましたけども、最終的には一つの意見に集約しようということで、集約された意見が、まず、そもそも燦燦基金の趣旨、成り立ち、経緯について、特に新しい会員の理解不足が募金の低迷につながっているのではないかと。理解さえすれば当会の会員はもっと積極的に基金に協力してくれるはずだということで、理解を深めるために説明の機会をもっと設けよう。例えば、説明会や勉強会を繰り返し行うどうか、それから卓話のテーマとして取り上げていくどうか、そんなことをやっていけば、もっと募金が集まるようになるんじゃないかという話になりました。

これが一つ結論です。

で、こうやっていろんな機会を設けて、説明を尽くしてもどうしても目標に届かないと、そういった場合





にどうするかという話に移りまして、そういった場合には、米山基金のように、強制、ちょっと言葉は強いですが、強制徴収制というものを検討せざるを得ないのかもしれないねということになりまして、この強制徴収とひとりで言っても、方法とか額については、もう本当にいろんな意見が出まして、ここまではちょっとまとめ切れませんでしたけども、どっちかと言えば強制徴収をすることで、会員の経済的な負担を重くする方向にはみんなちょっと消極的だと。重くすべきではないという方向では皆さんの意見は一致したと思います。

現在、米山基金とって徴収している1人1万2,000円だそうですけども、それを米山と燦燦に配分するのはどうかという意見で一致、賄いきれない場合には、勉強会とかで議論してはどうかという話になりました。但し、この場合でも米山の趣旨とか経緯をきちっと理解した上で尊重していくことが大事でしょうねというのが火曜日のA班の結論です。

ここに至るまでにいろんな意見が出まして、後はランダムに出ました意見を紹介したいと思います。

燦燦の理解を深めるために、今回の情報集会用に配布された資料はとても役に立ちましたと。しかし、紙だけではなくて、説明会や勉強会も必要でしょうね。それから、1万円がどれ程の価値を持っているかという意見も出ました。これに対しては、奨学生にとって月1万円というのは大きな額だ。大きな支えになっているということとをみんなで認識しないといけないねと言うような意見が出ました。それから、他クラブではニコニコがとても多い。ニコニコ発表の時間確保のために卓話の時間も削ってるそうです。基本的ではあるけれども、募金箱を素通りしない習慣付けが大事だと。皆が趣旨を理解して取り決めどおり募金やニコニコに協力すれば不足は出ないはずだという意見がありました。

これは基本的なところですけど、裕福な家庭の子女である場合もある米山よりも、家庭の資力に恵まれないうながら高知県内の大学進学を希望している学生を応援したいという心情的なものはあるという意見がありました。あと、米山への1万2,000円というのは2670地区では最高額レベルで、これは普通程度に下げて、残りを燦燦に分配しても大きな問題にはならないのではないかと。これに対しては、米山の募金額というのは、高知クラブの格の問題にも関係する問題だと。分配するにしても、余り大きな額の分配はいかかなものかという意見もありました。

このようないろんな意見が出まして、最終的には先ほどの結論に至ったというのがA班でございます。以上です。

◎ 4日 B班 (発表・笠井勇治会員)



では、4月4日B班の発表をさせていただきますと思います。当日は、大変美しいばかりでなく、非常においしい皿鉢料理をいただきながら本池澤の会場で、きれのあるのどごしのスーパードライをいただきながら、開催させていただきました。

最初、隣が始まってるのにこっちが始まらないということでやや険悪な雰囲気も流れたんですが、始めれば非常に活発な議論が行われたと思います。

参加者として、リーダーで有馬義雄さん、それから井上良介さん、海治勝彦さん、川添博さん、河野弘訓さん、土本昭雄さん、浜田英幹さん、出来輝喜さん、吉門文恵さん、そして私、笠井勇治の10名で参加しました。そこに川添会長も加わっていただいたという状況です。

最初始まったときは、リーダーの有馬さんが早く終わらせて飲み会に移行したいという気持ちがにじにじと出ていたのですが、大先輩方がしっかり話そうよということでその辺のせめぎ合いから開始された次第でございます。

当初、ファックスで送られてきました資料の、これまでの経緯というところをリーダーが読んでんですが、まずワンコイン、500円×12回というのが、結構認識がなかったという意見がかなり出ました。それからニコニコは10回、これも知らなかったという意見が出ました。やはり目標額を知らないケースが非常に多いので、この辺は啓蒙が必要なのではないかという意見がでました。

それから、徴収方法についてなんですが、善意で集まらないんであれば会費制にするのもいいのではないかと。スルーするのが面倒なので、ボックスを象徴的に机の上に置いて会費制にしたらいいいのではないかと。そのようなお話も出ました。

それから、今度はその後の運用等についてなんですが、やはり卒業された方がどのような生活を送っているのか知るべきではないかと。それに対して、それを知らずに無償の奉仕をするのも大切ではないかということで、ここは意見が錯綜したところでございます。

その他の意見として、金額が嬉しいだけじゃなくて、そうしてくれる大人がいてくれることが彼らには嬉しいのではないかと。それから、彼らからしたら成功者と交渉できる意義を感じてもらえればいいなというような意見もございました。

全体としては、いろんな意見があつていいということで、最後までまったんですが、やはりこの基金に対する思いが皆さん強いのかなといった形で終了した次第でございます。以上です。

◎ 5日 A班 (発表・山崎達成会員)



メンバーは、司会が大谷さん、書記が私、その他メンバーが尾崎さん、鎮西さん、中島さん、中村さん、西山さん、林田さん、脇口さん、それに川添会長がオブザーバーという形で始まりました。途中、会長と交代で伊丹幹事もオブザーバーで入りました。

当初、大谷さんと私の方で諸先輩方をどのようにまとめようかなみたいな心配をしましたが、大谷さんが巧みに司会をしてくれましたので、今からご紹介するような結論ないし意見が出ましたので、ご紹介させていただきたいと思います。

まず、継続すべきかどうかなど、ポイント的なものの総意、まとめの部分から入りますと、最初は、ロータリー会員100名現在いる状況で、原資が集まらないというのは不思議な感じがするというようなこととか、私とか大谷さん、新入会員としてニコニコ抛出が年10回必要だといったことや、その使い道の内訳もちょっと理解が足らなかったねみたいな、冒頭そんな会話から入りました。結論としまして、こうした状況を踏まえて一旦結論的なものをご紹介しますと、燦燦についてはやめるべきではなくて、対象金額についても現状維持を目指していくのがいいのではないかとということになっております。

さらに、ロータリーの精神を尊重しまして徴収制とはせず奨学金の意義、募金の仕組みなどを新入会員、さらには既存会員にも継続的に情報発信していけば、自ずと収集金額は増加するのではないだろうか。状況がこのように好転することをまずは期待すべきではないかとということでございます。

で、その上で、期待に反して資金が集まらないような状況になった場合に限って徴収制への切り替えという策もあるのではないだろうかというのが総意でございます。

あと、好転しまして募金が増えてきた場合には、対象人数を増やすとか金額を上げるのかといった点については、その時点で判断すればいいのではないのでしょうかというのが、まずは我々の総意でございます。

以下、そういった総意を導き出しましたそれぞれの、概ね皆さん方に賛同を得た個人的な意見ということで、これからご紹介します。

まず、金額とか対象についての観点では、月額1万円は減らすべきではなく、本来3ないしは5万円程度が望ましいのではないのでしょうかといったお声。あるいは月額1万円が多いかという点につきましては、決して多いとは言えないんでしょうけれども、現状の金額であっても、例えば年度初めに年1回まとめて支給するとか、授業料納付時期の4月あるいは10月の年2回に支給するなどすれば、奨学金の位置づけとしても、もらう側への我々からの訴求力は十分ではないだろうか

といったご意見。確かに支給をまとめてするという形で、年12万円を10万円として支給対象を増やす手もあるんじゃないでしょうかといったお声もありました。

脇口会員からは、参考意見ですがということで、優秀な人、困っている人、どちらに支給するのかといったところも考えどころでしょうねと。一方で優秀さを判断する基準というのが難しく、評価の基準が教授により違いがありまして、優を乱発する先生もおられますんで、成績だけでは分からないという点もありますよねみたいなお話がありました。

募金集めの方法等についてでございますけれども、ロータリーの精神を尊重して奨学金の意義、資金集めの仕組みを新入会員、冒頭申しましたように既存会員にも継続的に情報発信していくことが重要という総意がありました上で、具体策でございますけれども、ランチが毎回豪華なような気がする。それを減らして奨学金に充てることでもいいのではないかと。以前加入していた大分では、おにぎり、おそばの日がありましたよといったご意見。そうだなということで、燦燦ランチを増やす方向がいいのではとのご意見でございます。

その一方で、燦燦ランチを増やす場合、日ごろ運営に多大なるご協力をいただいている三翠園さんのご貢献に対して、食事提供に一定の利益が確保できるように配慮をしてあげるべきではないかという、優しいご意見もございました。

徴収制にすると、昔の志からスタートした点とか矛盾がありはしないかといったご意見。募金と徴収の2本立てもありかなといったこと。誕生日祝いのお花をなくし、その分燦燦に回して欲しいという意思を表明してもらう手もありかというようなのが、ベテラン会員さんのご意見として複数ございました。

奨学金及び米山奨学金との連動についても一部ご意見がございまして、米山については四国トップクラスの収集実績を上げているんだけど、この際、燦燦奨学金との連動で再度アピールすることも必要ではないかといったこと。

最後でございますけれども、奨学生の顔見せと言いますか、そういう点につきましてはロータリーから顔出しを強制するのはどうだろうか。一方で我々と学生の関係が希薄化してはいけないので、奨学金の位置づけ、意味づけなどを説明してあげる学生とロータリー会員の橋渡しをしていただく里親的な役割は大事ではないかというご意見。

最後でございますが、脇口会員からは、例えば全く顔出しをしない、ロータリーへの感謝の表明がないというのは、学生本人にとってもいいことではないと思う。例えば、そういう逆の目で1年に1度は面談・面接をすると、その場で奨学金の継続支給を確認すると、評価するといったこともあっていいのではないかとご意見もございました。

以上でございます。



◎5日 B班 (発表・武者弘晃会員)



まず私たちのグループは、メンバーとして安光会員、千頭会員、細田会員、中澤陽一会員、古谷会員、入交会員、武樋会員でした。それであと、オブザーバーに伊丹幹事にも入っていただき、合計9名で活発な議論になりました。

既に発表されたグループさんともかなり重なるところが多いんですけども、まずそもそも燦燦基金の現状の課題についていくつか話が出ました。今一度考え直すというか、考える必要のあることとして、例えば、短期交換留学の派遣に700万、800万使われてることに対して、燦燦奨学金が4年間で48万円と、年間12万円、毎月1万円しか支給されていないというのは、いかにも少な過ぎるのではないかと。もう少し増やしてあげる方法はないかということをお話しされました。

そもそも燦燦奨学金は、高知の高校生で意欲も能力もあるにも関わらず、家庭の財政的な事情で大学進学を断念せざるを得ないと、こういう生徒が増えていることに対して、本奨学金が大学進学、または大学生活の一助になればという趣旨で立ち上げられたものと。現状の燦燦奨学金の財源は基金とニコニコで賄うということにしてるわけですけども、これだけでは学生1人当たり年間12万、8人の学生を援助するために96万、これが賄えておりません。ここ数年は毎年約

50万円の定期預金を取り崩して不足分を埋めているという現状があります。

この状況を踏まえまして、募金、ニコニコの啓蒙だけじゃなくて、高知ロータリーの裁量で行っている他の基金、こういったものの中身を今一度確認してその配分を燦燦奨学金、これを増やすことで見直しできないかという議論になりました。現在高知RCの裁量でできる基金としては、米山奨学金、あとロータリー財団、ポリオプラスというのがありますけども、米山奨学金は会員1人当たり年間1万2,000円、ロータリー財団は会員1人当たり年間100ドル、ポリオプラスは年間約50ドルということですので、合計で約250万円あるわけでありまして。これらの金額を少し削ってでも、この奨学金を増やすことを考えてはどうかという議論になりました。

その上で、さらに不足する場合には、不足する金額を具体的にした上で、その金額の目標に対して募金、ニコニコなんかで賄う工夫をしていくということを考えてはどうかという形の、最後結論になりました。

なお、奨学金を支払われている奨学生がどういう人であるかを知る上でも、現在も行われておりますけども、例会に招待して奨学生に簡単なスピーチをしてもらおうということ、こういうことは非常に大事なので、今後も続けていくべきという話になりました。

以上、高知の未来ある学生により役に立つ、その燦燦奨学金にしたいという熱い有意義な議論になりました。以上でございます。

● 会長講評

ありがとうございました。侃々諤々かつ有意義なお話、これだけできたというのは私も非常に感謝に堪えません。私の不規則発言もあんまり出なかったということで、それだけ皆さまがたくさんいいお話をしてくださったんじゃないかなと思います。来週もあと4班よろしくお祈りします。どうもありがとうございました。



◇ 出席率 ◇					
	総数	出席	欠席	メークアップ	出席率
4月11日	(-6)92	57	15	14	82.56
3月28日	ロータリー休日				

◇ 例 会 変 更 ◇

高知東RC	4月19日	ロータリー休日(阪)	高知南RC	4月20日	ロータリー休日(阪)
高知中央RC	4月20日	ロータリー休日(城)	高知北RC	4月24日	→4/25 8RC合同夜間例会に振替(三)
高知RC	4月25日	→4/25 8RC合同夜間例会に振替(三)	高知ロイヤルRC	4月25日	→4/25 8RC合同夜間例会に振替(旭)
高知東RC	4月26日	→4/25 8RC合同夜間例会に振替(阪)	高知南RC	4月27日	→4/25 8RC合同夜間例会に振替(阪)
高知中央RC	4月27日	→4/25 8RC合同夜間例会に振替(城)	高知西RC	4月28日	→4/25 8RC合同夜間例会に振替(三)
高知北RC	5月 1日	ロータリー休日(三)	高知RC	5月 2日	ロータリー休日(三)
高知ロイヤルRC	5月 2日	ロータリー休日(旭)	高知ロイヤルRC	5月 9日	創立記念夜間例会(旭)
高知北RC	5月15日	→5/13(土) 野外例会に振替(三)	高知北RC	5月22日	→5/20(土) 清掃例会に振替(三)

※例会場ホテル：(三)…三翠園 (城)…城西館 (阪)…ザクラウンパレス新阪急高知 (旭)…ホテル日航高知旭ロイヤル

ニコニコ箱

- 嶺岸 康 本日よりよろしくお願ひいたします。「一人一役」を仕事する上で信条としています。また、生きる上で社会に役立つ人間として成長し続けたいと思います。
- 西山 彰一 『ロータリーの友』4月号15ページに「広がる女性会員の活躍の場」を紹介した記事が掲載されました。ご協力いただいた皆さまに感謝申し上げます。
- 中澤 陽一 ロータリー財団委員会のヘリサイン事業は、昨日岡崎高知市長より感謝状をいただきました。川添会長が受けるはずのテレビインタビューを突然振られたので、結構あせりました。
- 宮田 速雄 妻の生誕日にきれいなお花をありがとうございます。今年もこれだけで済ませました。
- 古谷 純代 4月3日、主人の誕生日には素敵なお花をいただきありがとうございます。部屋に飾り、主人よりも私の方が嬉しく喜んでおります。来年まで大事に育つよう、主人にお世話をさせます。
- 細田 長司 昨日は妻の誕生日でした。素敵なお花を贈っていただきありがとうございます。この年齢になると誕生日を喜ぶのは？ですが、妻曰く「やっと年金がもらえる」と喜んでいました。年金って大切ですね。
- 関 裕司 4月19日に結婚記念日を迎えます。何と48年も経ちました。お互いへらい!
- 森本 征彦 先週は結婚記念日を祝っていただきありがとうございます。来年は50周年を迎えます。年ごとに家内が強くなり困ったものです。また先週、右城さんが入会され、歓迎のニコニコをするのを忘れていました。併せてニコニコします。
- 中村 裕司 先週は私たち夫婦の結婚記念日を祝ってくださりありがとうございます。39回目になりました。2人とも我慢強いというか結構しぶとい。
- 井上 良介 結婚記念日を祝っていただき感謝します。危なく忘れてしまうところでした。ニコニコさせていただきます。
- 尾崎 典之 妻が不穏な動きをしていましたので聞くと、今週末から台湾へ、とりあえず1週間行くとのこと。実は去年の予定が余りにチープなツアーで参加者が少なくツアーが中止になったそうです。まさか、あの旅行会社だったかも。妻がしばらくいないので、なぜかニコニコします。PS・やっぱりツアーは安心のJTBさんですよ。
- 林田 義久 高知ユナイテッド天皇杯全国大会出場おめでとうございます。私のシニアサッカー高知昭和OB会も高知県予選を勝ち抜きました。先週は木曜、土曜、日曜と3回とも花見が雨に見舞われましたが、それでも桜を見て満足しています。
- 佐竹 新市 長男が無事に中学校に入学できました。いろいろ受験したのですが、高知に残ることになりました。ニコニコ。
- 川崎 卓巳 モスキート音、コンビニの駐車場で若い方がたむろしないようにモスキート音が流されています。10代の方にとっては不快な「キーン」という音が聞こえるそうです。中田会員はこのせいでコンビニに買い物に行けないとぼやいておりました。先週の例会より忘れるなど言われたので、謹んでお知らせさせていただきます。
- 海治 勝彦 先日の親睦委員会との交流会で、おきやく電車を楽しませてもらいました。電車からの桜の花は格別でした。町中でのカラオケもなかなかおつなものでした。お世話していただいた皆さまありがとうございます。
- 川崎 敦子 雨続きの予報での花見の企画、親睦委員長の妙案のおきやく電車、路線の桜を楽しむ会、その日1日だけの晴れで、「あれれ…」でしたがとてもとても楽しいごめんまでの往復でした。乗ってみたいと分かりません。
- 武田 一宏 「おきやく電車」で中澤陽一会員から、お酒の差し入れをありがとうございます。お陰ではめを外し過ぎました。みんなで楽しく過ごせ、高知の思い出ができました。ニコニコします。
- 久場 幸信 長らく欠席し、ご迷惑をおかけいたしております。入会時に私を推薦していただいた、当時会長でもあった広末幸彦会員に退会の申し出をいたしました。ありがたいことに慰留していただき今に至っております。誠に申しわけありません。本日も欠席しております。

● 累計額 [4月11日現在]

ニコニコ箱	879,200円	ロータリー <small>さんさん</small> 燦燦基金	272,345円	ポリオ募金	280,000円
-------	----------	--------------------------------	----------	-------	----------

■ 次週のプログラム [4月25日]

8ロータリークラブ合同夜間例会
ホテル日航高知旭ロイヤル 18:30~

◆5月2日 ロータリー休日

創 立 昭和12年10月
例 会 日 火曜日 12:30~13:30
例 会 場 三翠園ホテル TEL(822)0131
事 務 局 高知市本町3丁目2-15 高知新聞放送会館1階
 TEL(824)8660 FAX(824)2529
E-mail shinairc@joy.ocn.ne.jp
HPアドレス <http://www.221.ne.jp/kochirc/>